

モンベルが農作業着を開発して、ついでに野菜を



（株）モンベル（大阪、辰野勇代表）が町内の若手農家の皆さんと協力して、新たな農作業着アイテムを商品開発しました。9月1日（日）開催の第11回大雪清流てっぺん祭りの会場で発表ファッションショーを開き、お披露目の予定です。

レイン・ウェア（合羽上下）、上下つなぎ作業着、エプロン、帽子など15品。昨年、大雪ひがしかわ店の開店を期に計画。東川町農協青年部、同女性部の若手農家、同農協、町商工会、町産業振興課が全面協力しました。新しい農家ウェア（フィールド・ウェア）の提案。動きやすい動作性、

気象変化への柔軟な対応性、がっついい機能的设计性が特長。よう来春、同社の新カテゴリー商品として取り扱うということです。



野菜生産者の集い〜出荷繁忙期前交流



7月6日、東川町農協で「夏の野菜生産者の集い」が開かれました。東川町蔬菜園芸研究会（園田稔会長）が主催しました。「ほうれん草」「ピーマン」「長葱（ねぎ）」「溶液栽培生産」「ハーブ」「トマト」「ブロッコリー」「スイートコーン」「軟白みつば」の9部会の生産農家約120人が集まり、本格出荷の繁忙期を迎える前のひと時、焼き肉バーベキューを囲んで楽しみました。

竹内友香選手、シーズン終えて帰郷のおまつり

東川町で育った旭川出身のスノーボード選手、竹内友香さん（29）は島ガスⅡが2012-2013競技シーズンを終えて帰国し、6月22日松岡市郎町長に帰郷あいさつに来庁しました。

昨年W杯イタリア・カレットツア大会（昨年12月）のスノーボード・アルペン大回転競技で日本人初の優勝を果たしました。しかしレース後に外傷性の肺炎胸を起こしてその後十分な成績を残せませんでした。



不十分な中で世界ランキング3位を取られた。これからも来季につながるように頑張りたい」と話しました。

中国人強制連行の慰霊祭、平和の誓い新た



7月7日、東14号共同墓地で中国人強制連行事件殉難烈士（じゅんなんれつし）慰霊祭が行われました。

同慰霊管理委員会（代表委員・林次男東和土地改良区理事長）が主体となつて毎年開いています。旭川市内、東川町内などから今年も関係者約70人が出席しました。林委員長は「戦時中、中国人強制労働だけでなく、中国人以上の多くの朝鮮人が強制労働させられた事実が明らかになっていきます。密接に関係する事実として厳粛に受け止め、遺骨発掘や慰霊の運動にも積極的に協力をしてい

きたい」と改めて日中韓の平和と友好の誓いを祈念しました。

終戦の前年、1944（昭和19）年忠別川江卸発電所建設と、関連のかがい用水池建設事業の労働力として338人の中国人が強制連行されて来ました。連行途中に34人が死亡し、劣悪な強制労働で遊水池の完成までに88人の犠牲者を出しました。その間221人の負傷者、病氣罹患（りかん）者も出し、生存者は何らかの病氣、負傷を負いました。

この過酷な実態を後世に残すため、1972（同47）年に慰霊碑が建立されました。

開拓の労苦しのんで慰霊祭

7月6日、東川町社会福祉協議会（川上隆司会長）主催の東川町慰霊祭が平和と開拓の碑前で行われました。

開拓功労者、戦没者を追悼し、平和の誓いを新たにすため毎年開いています。会場には、遺族会の町内関係者福祉団体関係者ら約100人が参列しました。松岡市郎町長は「213柱の戦没者、250柱の開拓功労者の先人の英知と開拓魂で119年の歴史を築

8町の消防団員が合同消防訓練



北海道消防協会上川地方支部上川中央分會（中井廣明分會長）の第36回上川中央分會消防訓練大会が7月5日、東川町の役場周辺中心市街地区で行われました。

上川中央部8町の消防団約260人が結集。「東町1丁目中心地区住宅街の法城寺周辺から出火、折からの強風によって一帯で大発火が発生」との想定で訓練成果を披露しました。

市街地区で大規模火災が発生、近隣の消防団が連携して火災防衛活動を展開するという訓練展示。各町から出動

き、来年開拓120年を迎えようとしています。今日の発展を築いてきた先人に感謝します」と追悼しました。

追悼式典に先立つて行っている恒例の慰霊音楽行進は、当日直前の降雨の影響で中止となりました。第2音楽隊などが出演した演奏会、協賛行事の芸能プログラムは農村環境改善センターで例年通り行い、多くの町民が楽しみました。



訓練成果を披露後、参加団員は東川中学校吹奏楽部のマーチング演奏に合わせて市街地約500メートルを分列行進し、来賓約60人と町民に勇姿を披露しました。